

第 11 回東淀川区西部地域バリアフリーまちづくり協議会会議録

日 時：令和 8 年 3 月 12 日（木）午後 7 時～午後 7 時 50 分

場 所：東淀川区役所 3 階区民ホール

【議事】

1 開会

2 議題

(1) 令和 7 年度活動報告について

(2) 令和 8 年度活動予定について

3 閉会

〈配付資料〉

- ・資料 1 協議会座席表
- ・資料 2 活動報告および活動予定
- ・資料 3 柴島地区の都市計画変更関連資料
- ・資料 4 阪急連立事業関連資料

1. 開会

会長（区長）あいさつ

2. 議題

(1) 令和 7 年度活動報告について

(事務局)

- ・まちづくり構想部会については、2 か月毎に開催し、アクションプランの作成、まちづくりに関する意見交換を定期的に行っている。
- ・5 月の第 55 回まちづくり構想部会では、阪急洛西口駅高架下の見学会を実施。今後の高架下利用を検討していく上では大変参考になった。
- ・6 月には「新大阪駅周辺地域まちづくり方針」、「淡路駅エリア計画」が策定され、7 月の第 56 回まちづくり構想部会では、柴島浄水場開発用地の都市計画変更について計画調整局より情報提供があった。内容については、本日の説明資料 3 をご覧いただきたい。説明としては、用途地域の変更として将来開発用地は第一種住居地域から商業地域に、浄水場機能集約用地は第一種住居地域から準工業地域に変更するとともに、用途地域の制限だけでは、色々な建物、施設の建築が可能となることから、地区計画を定めて土地利用の方針を定めていくということであった。なお、昨年 12 月に都市計画変更の手続きが完了している。
- ・12 月には区創設 100 周年記念防災・まちづくり講演会が開催され、1 月の第 59 回まちづくり構想部会においても講演のテーマである住民主体の防災、住民主体のまちづくりの意義や重要性について共有している。
- ・最後に 1 月には阪急電鉄京都線・千里線連続立体交差事業において、大規模事業リスク管理会議が開催された。資料 4 をご覧いただきたい。既に皆様にはご説明させていただいているが、約 249 億円の事業費増額および安全性を考慮した施工方法の再検討、働き方改革による影響等により、事業期間の延伸が見込まれることが報告されている。なお、延伸期間については、精査を進めており来年度のリスク管理会議までに整理することとなっている。

(2) 令和 8 年度活動予定について

(事務局)

- ・次に令和8年度の予定は、これまで通りまちづくり構想部会を年6回、年度末に協議会を開催する。その間、地域でのワークショップ等による話し合いを進め、来年度を目標としているアクションプランの取りまとめを進めていきたいと考えている。
- ・なお、来年度は先ほどの連続立体交差事業の動向を踏まえ、令和9年度以降の進め方についても検討を進める必要があると考えている。以前お示ししている現在のスケジュールは、スケジュールのずれが想定されることとなる。それに伴い、柴島浄水場の機能集約についても影響を受ける可能性があるため、その辺りを含め検討を進めたいと考えている。まちづくりアクションプラン自体は、引き続き皆様からのご意見を踏まえて、策定していきたい。
- ・また、新大阪駅東口のまちづくりについては、新大阪駅周辺のプロジェクトの動向を見据えながら考える必要があり、検討は進捗していない状況であるが、開発の状況を踏まえて、まちづくりビジョンの具体化に向けての検討も進めていければと考えている。

【（１）、（２）を通じて質疑応答】

（淡路地域）

- ・事業の延期について地域の人と話したところ、我々は完成をみることができないかもという話が上がっていた。事業が伸びれば伸びるほど人件費や資材が高騰することから事業費も増えることが予想されるため、予算を確保して早急に進めていただきたい。
- ・活動としては、淡路駅周辺の駐輪対策について東淡路地域の皆さんと一緒に淡路駅周辺自転車対策協議会を立ち上げて活動している。この4月から自転車に関する法律が変わってくることも踏まえながら、これから大人になっていく子どもたちに自転車文化・マナーについて何とか根付かせていこうという思いで活動をしている。

（東淡路・柴島地域）

- ・事業の延期については、淡路地域の意見と同じく、今でも伸びているところに、さらに伸びるとなると私も含めた高齢者にとって気持ちをつなげていくのが難しいと実感しているところである。
- ・活動としては、後で報告もしますが、先日、東淡路小学校6年生に未来のまちづくりというテーマで、1, 2組を14グループに分けた各グループの意見について、保護者や地域の方に報告をいただいた。
- ・発表を聞いて思ったことは、子ども達の視点が非常にやさしいことです。高齢者や障がいのある方など、本当に配慮を要する人たちの目線に立ってまちづくりを考えており、本当に感動したところである。稚拙な部分もありますが、地域での高齢者と若い方との交流の場や遊び場に防災倉庫を作るなどの視点で報告してくれた。
- ・また、阪急電鉄の協力で、駅の見学会もさせていただいたが、完成した時には6年生がいい大人になっていることを実感し、子ども達も頑張ってくれているので、大人たちがちゃんとした背中を見せないといかんというような話もし、住民主体のまちづくりを進めていきたいと考えている。

（豊新地域）

- ・工事については、時間が伸びるのは仕方ないと考えている。街中での工事なので、夜間工事が難しい等あると思われる。これだけ大きい高架工事は20年、30年のスパンでやるような工事であることも理解しているが、多くの方が期待しているので少しでも早く完成できるようにしていただきたい。
- ・活動については、豊新地域は駅に近い地域では無いが、淡路地区、東淡路地区と同じような気持ちで地域

を盛り上げるという思いで活動している。障がい者の方にも優しいまちづくりということで、地域の行事、文化の継承し、障がい者団体の皆さんと一緒に祭りを行ったりしている。

- ・小学生に取ったアンケートでは、我々が行っている地域活動を大きくなったらやりたいという感想もいただいて、とても嬉しく思っている。
- ・また、大阪市の助成を頂いて新しく豊新地域の会館が出来上がった。3月20日に引き渡しを受けて、4月1日から地域活動の拠点として使わせていただく。これを受けて、地域の活動の方も盛り上げて行きたいと考えている。

(新庄地域)

- ・工事の延期だが、地域にとっては、高架の切り替えが一番気になるところなので、その辺りをはっきりしていただくと分かり易いと考え。事業費が増えることについては、こういった事業については増加するのしょうがないと思われるので、対処しながらやっていただきたい。
- ・活動としては、保健福祉計画を6、7年前ぐらいに策定しているが、それから見直しを行っておらず、アクションプランとの隔たりも解消していくために、新庄まちづくり協議会を十数名で立ち上げ見直しを進めている。駅前の歩道がどうなっているかなど、地域の細かい問題について情報を収集しながらビジョンを作って行きたいと考えている。

(菅原地域)

- ・事業については、菅原地域でも高架化については凄く期待されている状況である。私も通勤の時に踏切が開かず、30分、40分待たなくてはいけない状況がまだまだ続くかと思うとゾッとする。どうしてこんなに遅れるのかという原因を、住民がほとんど知らされていない状況で、事業が遅れるのもニュースで見た程度である。地域の方々に説明できる情報が欲しいと考えている。
- ・活動としては、2月1日に防災訓練を行いました。避難場所が菅原小学校ということで、避難時に踏切を渡るコースの住民も沢山いる。災害時に高架化していない場合だと避難経路を大きく変更させないといけない等の状況にもなるので、その様なことも考えながら住民の皆さんにうまく説明できればと考えている。

(啓発地域)

- ・区役所や電鉄から頂いた情報については、地域の代表に集まってお聞き、認識は共有できていると考えている。
- ・活動としては、部会の方が中心となって色々な世代の方が集まってお聞き企画として、未来会議という自分たちの将来像について考える機会を持っている。課題として出てきているのが、若い人たちをどう活動に引き込んでいくのかということである。先ほど東淡路・柴島地域の方のお話で、学校との関係性の中で子ども達と接点を持って行くという実践内容を聞いたので、啓発地域でも、学校や保護者を巻き込んだ動きができればと考えている。なお、動いていく中では行政機関での後押しをお願いできればと思う。
- ・高架化工事の状況は、工事現場が、啓発地域の外れになるので、日頃、見かけることはあまりないと思うが、一方で、市有地の空き地がかなりある。地域の課題として住民の方々はより身近な問題として感じている。大阪市の方向性としては、売却が前提であるとのことであるが、ワンルームマンションが多いこともあり、コミュニティーがどんどん失われていくという話もでてきているので、この問題に関しても、地域への説明等をお願いしたいと思う。

(下新庄地域)

- ・工事に関しては、大阪市の建設局の方、阪急の方に個別に説明をいただき知っていたが、先ほど井上委員からもお話があったように高架切り替えをできるだけ早くしていただきたい。高架切り替えができて踏切が無くなると子ども達の通学路も安全、便利になると考えている。
- ・今回の工事延期の原因に下新庄の要因もあったということも聞いているが、下新庄駅もやっと対面になり西側の方が解体されているということである。また、これにより7mの踏切が2.7m短くなり高齢者にとっても良くなったと思っている。
- ・また、工事延期の原因の一つに下新庄駅から淡路駅に向かう高架については、新幹線の上を越えなければならぬが、その工事はJRしかできないということも言われていたので、その様なことも原因の一つであると考えている。
- ・活動については、例年通り春から冬にかけて、盆踊り、ミニキャンプ、お祭り、ミニクリスマスコンサート、シモナリエ、また防災訓練などの年間行事を例年通り行っている。
- ・アクションプランについては、ほぼ出来上がっているが、この間、「つなぐ・つなげる・つづける」というサブスローガンを作った。アクションプランというのは、結局、「つなぐ・つなげる・つづける」ということを前提にやっていかなければならない。そして、これを後の世代につなげていかなければならないと考えている。
- ・先ほど、高架切り替えの話もあったが、切り替えになればアクションプランも変えていかなければならない。高架切り替えができれば、今、分断されている東西が繋がる。そうなれば、だんじり祭等のお祭りについては、東西でつながったものができるのではないかと考えているし、若い人たちはしたいと言っている。そうなるように期待しているので、よろしくお願ひしたい。
- ・先ほど話に出た防災学習会というものを行った。長年、実施していなかったが、避難経路について60人ぐらい各町会から集まってくれ見直していただいた。避難場所への経路も変化しているので、今までダメだったところも経路として使えるといったことを確認している。

(西淡路地域)

- ・西淡路地域については、新大阪駅前まちづくりの課題が一番大きな課題である。数年前の都市再生緊急整備地域に指定された時に関係する地域の方が集まり説明会や意見交換を行ったが、来年度、改めて新大阪駅東口まちづくりビジョンを踏まえて、ワークショップを開催して住民の方の意見集約をできればと考えている。
- ・もと西淡路小学校の跡地問題については、来年度に一定の方向性が見えてくると思われるので、これも重視してまちづくりの取組を進めていきたい。

(久名誉教授)

- ・まちづくり協議会は3月に定例会、まちづくり構想部会は2か月に一度と一緒に議論をさせていただいているが、協議会が立ち上がった当初はまだ形が見えなかった時期だった。ようやく淡路駅の駅の形も見え、高架も形が着々と見えてきた段階で、改めて我々が作ったまちづくり構想に基づいて、それぞれの事業、あるいは活動を続けていくことによって、よりいいまちになるというような感じになって来るのだと思っている。

- ・私自身、大学に通うのにおおさか東線をずっと利用しているが、開通当初はガラガラでいつも座れたが、今はもう朝夕は満員で、阪急からJRに乗り換えるお客さんも多くなり、やっと人の流れも変わって来たような気がしている。
- ・毎年、言っているが、今回の報告の中で一番のビックプロジェクトは、柴島浄水場の土地利用の話かと思う。こういうビックプロジェクトが着々と動き始めている。こういうビックプロジェクトが進んでいる時にこそ、まちづくり構想が一定の方向性を示してくれる。こういう構想が無いとそれぞれの敷地ごとにばらばらになってしまいかねないが、構想があることによって、それぞれが合わさってひとつのものにつながっていく効果が生まれるのだと考えている。
- ・地域ごとにアクションプランを作っているのも同じことだと認識している。多くの地域で新しくやることはそんなにないという意見もあるが、今までやってきた個々の活動が、ひとつのアクションプランにまとまることによって、それぞれのつながりが見えてきて、その活動をすることが、まちづくりのどの部分を担っているのが明確になることこそアクションプランの大きな役割であると考えている。アクションプランがあってもなくても、今までの活動を続けていくことになろうかと思うが、まちづくりの全体像を共有しながら、ひとつひとつの活動を続けていくことができるのが、アクションプランの大きな意味。
- ・各地域の報告の中で、小学生の意見交換の話が出てきたが、これは重要な話であると考えている。先ほど生きているうちに完成をみないのではという話もあったが、大きなまちづくりに携わっていると同じような声をお聞きする。しかし、我々の役割としては、未来の子ども達に良いまちをどうやって残せていけるかという観点がとても重要であり、これからの地域を担っていただく若い方の意見をしっかりと聞いて進めていくことを改めて意識していただきたい。
- ・語弊があるかもしれないが、未来において地域の子も達が、「死んだおじいちゃん、おばあちゃんが頑張ったからこういういいまちがあるんやで」と言ってもらえるまちづくりができれば良いと思っているので、地域の次の世代を担う方々も一緒に意見交換できる関係性も作っていただければと思う。

(会長)

- ・各地域のアクションプランを作ることによって、地域内のそれぞれの取り組みが一つにまとまっていくというお話があったが、区役所としては西部地域だけでなく、東淀川区の各地域が繋がって発展してくれれば良いと思うところである。
- ・令和8年度の活動予定については、この予定で活動してまいりたいと思うが、何かご意見はあるか。

(委員)

- ・連立事業期間の延伸の説明を受けたが、金額が出ているのであれば期間も出ているのではないかと思うが、具体的に何年延びるのか。

(会長)

- ・資料4の裏面にも記載しているが、現在は精査している状況であり、来年度の大規模事業リスク管理会議において明らかになって来ると考えている。
- ・それでは、8年度の活動については、この予定で進めて参りたい。

3. 閉会

会長（区長）あいさつ

以上